平成24年度 公害に関する苦情処理状況<資料編>

市民からの公害苦情については、大部分が大気汚染、水質汚濁、騒音等の「典型7公害」に関するものである。光害、熱風など日常生活において不快感を伴うものを含め、多数の苦情が市に寄せられている。

1 全市の公害苦情件数の推移

【 全市の平成 24 年度の公害苦情の受付件数は 347 件であり、平成 23 年度(394 件)と比べ 【 て 47 件減少した。

種類別にみると、大気汚染に係る苦情(野焼き、粉じん等)が 116 件と最も多く、次いで、 騒音に係る苦情(工事現場の作業音等)が 105 件、水質汚濁に係る苦情(油膜が拡がっている 等)が 50 件と多かった。

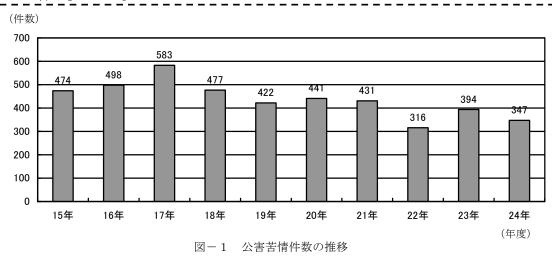


表-1 種類別の公害苦情件数の推移

種類/年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
大気汚染	190	209	287	176	186	193	136	80	118	116
水質汚濁	20	19	15	15	8	38	123	91	75	50
土壤汚染	1	0	0	0	0	1	2	1	0	0
騒 音	158	161	133	132	102	99	94	59	101	105
振動	17	24	26	38	19	18	7	10	21	19
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	84	77	108	105	93	84	67	67	71	48
小 計	470	490	569	466	408	433	429	308	386	338
その他	4	8	14	11	14	8	2	8	8	9
合 計	474	498	583	477	422	441	431	316	394	347

2 区別の公害苦情件数

平成 24 年度の区別の公害苦情件数は、西区が 78 件と最も多く、次いで、中央区が 54 件、北区が 46 件と多かった。

最も公害苦情件数が多かった西区において、種類別にみると、大気汚染に係る苦情が 42 件と最も多く、次いで騒音に係る苦情が 16 件と多く、全市と同様の傾向がみられた。

種類/区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
大気汚染	11	3	13	7	28	3	5	4	42	116
水質汚濁	4	4	8	1	10	2	7	4	10	50
土壤汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	10	16	15	7	7	14	9	11	16	105
振 動	5	1	4	1	0	5	1	1	1	19
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	7	5	12	5	1	3	2	6	7	48
小 計	37	29	52	21	46	27	24	26	76	338
その他	2	2	2	1	0	0	0	0	2	9
合 計	39	31	54	22	46	27	24	26	78	347

表-2 平成24年度 区別の公害苦情件数

3 月別の公害苦情件数

平成 24 年度の月別の公害苦情件数は、5 月が 46 件と最も多く、次いで、6 月が 42 件、8 月が 36 件と多かった。

種類/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大気汚染	6	18	10	9	11	8	14	9	7	6	7	11	116
水質汚濁	3	7	6	3	2	3	4	5	5	6	3	3	50
土壤汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	9	9	16	15	15	3	9	9	6	3	6	5	105
振 動	2	0	3	1	3	0	1	2	2	0	3	2	19
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	1	11	6	5	5	4	4	3	0	3	6	0	48
小 計	21	45	41	33	36	18	32	28	20	18	25	21	338
その他	0	1	1	1	0	1	0	0	2	2	1	0	9
合 計	21	46	42	34	36	19	32	28	22	20	26	21	347

表-3 平成24年度 月別の公害苦情件数

4 用途地域別の公害苦情件数

平成 24 年度の用途地域別の公害苦情件数は、住居系地域において騒音に係る苦情が 68 件と最も多く、次いで、大気汚染にかかる苦情が 36 件、悪臭に係る苦情が 28 件、水質汚濁に係る苦情が 18 件と多かった。

商業系 工業系 市街化 住居系 種類/用途地域 計 調整区 近隣商 商業 工業工業専 準工業 地域 小計 小計 域 業地域 地域 地域 地域 用地域 大気汚染 水質汚濁 土壤汚染 音 騒 動 振 地盤沈下 悪 臭 小 計 その他 合 計

表-4 平成24年度 用途地域別の公害苦情件数

5 発生源別の公害苦情件数

大気汚染では、その他(野焼き等)が73件と最も多かった。

水質汚濁では、その他(発生源が不明)が34件と最も多かった。

騒音に係る苦情では、建設現場が66件と最も多く、次いで事業場が23件と多かった。

種類/発生源	事業場	建設現場	交通機関	一般家庭	その他 (野焼き等)	計
大気汚染	16	27	0	0	73	116
水質汚濁	8	5	2	1	34	50
土壌汚染	0	0	0	0	0	0
騒 音	23	66	4	0	12	105
振 動	0	11	6	0	2	19
地盤沈下	0	0	0	0	0	0
悪臭	27	0	0	2	19	48
小 計	74	109	12	3	140	338
その他	1	4	0	0	4	9
合 計	75	113	12	3	144	347

表-5 平成24年度 発生源別の公害苦情件数